

## 令和4(2022)年度 基盤研究(S) 審査結果の所見

研究課題名	水を中心とする有機化学＝アクア有機化学の構築
研究代表者	小林 修 (東京大学・大学院理学系研究科(理学部)・教授) ※令和4(2022)年6月末現在
研究期間	令和4(2022)年度～令和8(2026)年度
科学研究費委員会審査・評価第二部会における所見	<p><b>【課題の概要】</b> 本研究は、有機合成反応を水溶媒中で行う斬新な方法論と理論を確立し、さらには有用性の高い医薬品合成へ応用展開することを目的としている。</p> <p><b>【学術的意義、期待される研究成果等】</b> 応募者はこれまで、有機合成反応開発において多くの業績を上げており、その中でも安全で環境調和性の高い、水を溶媒に用いる反応についての研究成果は特筆に値する。本研究では、水中で機能する新しい高機能触媒の開発と反応分析方法の開発や反応機構解明、さらには新触媒のフロー合成への応用を計画している。研究計画は綿密で、独創性が高く、有機合成手法とその学理に革新をもたらすと期待される。</p>